

大泉町教育委員会協議会会議録

1 日 時 令和3年6月25日（金）午前10時52分から11時40分まで

2 出席者

柴崎教育長、高倉委員、福田委員、秩父委員、大塚委員

3 出席職員

石川教育部長、千吉良教育管理課長、竹田教育指導課長、金井こども課長、
村田生涯学習課長、後藤書記

4 傍聴人

なし

5 議事、協議及び報告事項

教育長報告 (1) 令和3年第4回大泉町議会定例会について

その他 (1) 南小学校校舎長寿命化改修工事について

6 議事内容

柴崎教育長 これから教育委員会協議会を開会いたします。

はじめに、日程第1 前回会議録の承認について、事前に配布させていただきました会議録について、何かご意見等ございますでしょうか。

ないようですので、5月25日の教育委員会会議録のご署名を、高倉委員さんと福田委員さんをお願いいたします。

続きまして日程第2 教育長報告に移ります。

(1) 令和3年第4回大泉町議会定例会について、事務局より報告いたします。

千吉良課長 はい。

柴崎教育長 千吉良教育管理課長。

千吉良課長 それでは、令和3年第4回大泉町議会定例会についてご報告いたします。別紙にて机上配布させていただきました主な概要説明をご覧ください。

日程第1 会議録署名議員の指名につきましては、記載のとおりでございます。

日程第2 会期の決定につきましては、令和3年6月8日から10日までの3日間となりました。

日程第3 諸報告につきましては、公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団の令和2年度事業報告及び決算報告、並びに令和3年度事業計画等が報告されました。

日程第4 報告第1号 令和2年度大泉町一般会計繰越明許費繰越計算書についてでございますが、令和2年度内に完了できなかった事業予算を、令和

3年度に繰り越し、事業の継続実施を可能とするため調整するもので、主な事業といたしましては、新型コロナウイルス予防接種事業等でございます。日程第5から第10までは議案となります。

議案第25号につきましては、教育委員会の委員の任命についてということで、福田一男氏の任期が令和3年7月14日に満了することに伴い、引き続き委員として任命されましたことをご報告いたします。

議案第26号、第27号監査委員の選任につきましては、水谷清子氏が引き続き、また議会より須田敏彦議員が選任されました。

議案第28号 財産の購入につきましては、大泉消防団配備の消防ポンプ自動車1台の更新で、購入金額は2,257万2千円でございます。

議案第29号 大泉町児童館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例につきましては、学童保育の時間延長に係る条例の一部改正でございます。

議案第30号 令和3年度大泉町一般会計補正予算(第2号)につきましては、歳入歳出予算に8,355万5千円を追加し、予算総額を132億6,626万8千円とするものでございます。歳入の主なものとしましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等、歳出の主なものとしましては、介護事業者等宿泊費用助成事業等でございます。

続いて、日程第11 一般質問につきましては、資料2ページ、3ページをご覧ください。4名の議員から、資料に記載の質問をいただきました。

教育委員会に係る部分のみ説明させていただき、その他につきましては、町ホームページの議会中継動画を確認していただければと思います。

それでは、教育委員会に関する質問でございますが、通告2番 渡邊明議員の質問1. コロナ禍での生理の貧困対策について(2)生理用品の無償提供についてでございます。

新聞等でも報道されておりますが、生理の貧困問題が顕在化する中、県立学校でも無償提供、また県内の一部の自治体でも行われていることを受けて、女性が健康で安心して学びや活動ができるよう、どのような検討をしているかというご質問でございました。

学校においては、誰でも使用できるように各校トイレへの設置を早急に進め、また町全体としても、福祉課において生理用品の無償提供を進めていきたいと答弁いたしました。

続きまして、通告3番 堀越幸広議員の質問1. オンライン授業への対応について(1)保護者家庭の通信機器整備状況についてでございますが、通信環境のない家庭をどのように把握し、どう対応していくのかというご質問でございました。

1人1台の情報端末配備や無線LANネットワーク整備については完了しており、自然災害や感染症等の拡大による臨時休業などの緊急時や夏休みなどに、オンライン授業へも対応できるよう準備を進めております。

昨年度中にもアンケートを行い、状況把握に努めて参りましたが、改めて5

月に3,043人を対象に保護者アンケートを実施し、回答率は98.5%でした。通信環境があると回答した者は2,876人、通信環境がないと回答した者は103人でした。未提出者等を含めると、167人が通信環境が整備されていないと推計しており、教育委員会としては、Wi-fi機器の貸出し及び通信費負担の支援を実施するとともに、保護者に対しては整備について理解を求めるような説明を継続的に実施していくと答弁いたしました。続きまして、(2) 教員の端末スキルの把握と実務支援についてでございますが、日常不慣れな端末機器の操作スキルの差により、オンライン授業等に影響が生じないよう、現場で対応する教員をどのような体制で支援していくのかという質問でございました。

教員により機器の操作経験やICT活用指導力の違いがあるということも十分想定されるため、各学校で研修等を随時実施、またICT活用研究班を立ち上げ、教員のスキルアップのための研修を実施しています。また、東部教育事務所からICT活用スタッフの派遣を受け、サポート業務を行っていただいています。このような人材を効果的に活用していくことで、教員の負担軽減にもつながるものと考えている旨答弁いたしました。

質問2. 新たな学習環境への対応について(1) 児童生徒の習熟度に応じた操作指導についてでございますが。経験による理解度の違いから、操作技能に差が生まれ、同一指導とはいかない場合どのように対応していくかという質問でございました。

習熟度に応じた操作指導については、各学校で作成している年間の指導計画にも盛り込み、子どもたちの発達段階に応じて指導を行い、一人ひとりの習熟度に応じたきめ細かな指導を行っていく旨答弁いたしました。

(2) 学習環境の変化に応じた対応につきましては、オンライン授業の常態化により、子ども同士の横のつながりが希薄になるとともに、コミュニケーション能力の低下を招くことも危惧されるが、今までにない学習環境の変化がもたらす不安を解消するためどのように取り組んでいくかという質問でございました。

言葉を正しく伝える力を身につける指導を行っていくとともに、情報モラルに関する指導を行うことで、子どもたちの不安要素の解消を行い、また、柔軟な発想やアイデアを大切にしながら、ICTを活用し、探求的・協働的な学びを積極的に推進していくと答弁いたしました。

(3) 端末機器の活用については、授業以外の端末機器の活用についてはどのように考えているかという質問でございました。

授業以外にも、朝や帰りの連絡、アンケート調査、委員会活動、学校行事や部活動など、様々な場面が想定され、利活用場面や方法について、先進事例を調査研究していくと答弁いたしました。

3. 子どもたちの健全育成について(1) ヤングケアラーへの学習環境支援についてでございますが、新聞等でも報道されておりますが、家族の介護や世話を担う、特に18歳未満の子どもたち、いわゆるヤングケアラーへの負

担の大きさが問題となっている中で、家族の介護等に時間を取られ、学業に支障をきたし、発達段階の大事な時期の阻害要因とならないよう、教育委員会としてどのように対応していただけるかという質問でございました。

教員によるきめ細かな見守り等により早期発見につなげ、また学校生活アンケート等を利用し、悩みや不安を把握し、受け止め、その解消に向けて支援をしていくとともに、スクールカウンセラー等も活用し、適切な支援を行っていくと答弁いたしました。

以上で一般質問に関する報告となります。

柴崎教育長 報告が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。

(なし)

ないようですので、日程第3 その他に移ります。

次の報告につきましては、議会案件となりますので、秘密会とさせていただきますが、よろしいでしょうか。

(了承)

それでは、秘密会を始めます。

以下秘密会

教育委員さんから何かございますでしょうか。

福田委員 太田市では学校教員がコロナワクチンの接種を受け始めたと聞いていますが、大泉では先行して接種計画はありますか。

また、文部科学省から、夏休みを利用して小中学生にもコロナワクチンの接種を進めるという話もあるようですが、何か決まっているのでしょうか。

竹田課長 大泉では、教員が先行して接種するという予定は具体的にはありません。また、子どもへの接種については、過日文部科学省から通知が入りましたが、接種を推奨するものではないという文言が明記されております。現時点では、子どもへの接種は不明確なところであります。

金井課長 保育園・幼稚園・認定こども園の保育士につきましては、東毛接種センターでの接種に余裕があるため、夜遅い時間に、希望する人に対して接種を進めているところです。

柴崎教育長 他にはございますか。

福田委員 先ほど授業参観させていただき、生徒が静かで良かったと思います。アクティブラーニングとしてグループを組んで授業を進める形もあるとは思いますが、静かな環境の中で、先生が大きな声で歯切れ良く進める授業においてこそ、ICT機器が活かされるのではないかと感じました。

もう1点、南中学校は来週から期末テストかと思いますが、期末テスト範囲より先の授業をどんどん進めるというのは、子どもたちも力が入りにくく、また先生に質問しにくいのではと感じます。テストまではテスト勉強を見てやるというシステムが良いのではないかと感じました。

柴崎教育長 ほかに委員の皆さんからございますか。

(なし)

事務局からはありますか。

(なし)

それでは、以上で教育委員会協議会を閉会いたします。

上記会議録は、正確であると認めます。

令和3年7月26日

署名 教育長

署名 教育委員

署名 教育委員